

名城公園の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	岩間造園株式会社		
主な業務内容	名城公園の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市北区名城一丁目2-25		
評価対象期間	令和6年4月～令和7年3月	指定管理期間	令和6年4月～令和10年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
管理体制及び協働	1 管理体制	職員配置	○	施設の不具合などにより緊急連絡が必要になった際には時間外・休館日なども速やかに対応した。
		緊急時の体制	◎	
		人材育成等	○	
	2 協働	市民等との協働	○	
維持・管理運営等	1 維持管理	園内清掃	○	追加された指定管理区域では、老朽化したベンチの更新、根上がりなどによる段差が生じた平板の補修、車止めの更新、不陸整正など利用者の安全を考慮し速やかに実施した。また、愛知県新体育館の竣工前に、景観を考慮し、フラワープラザの外壁洗浄・塗装を実施した。
		建物・設備の管理	○	
		保守・点検・修繕	◎	
		植物管理	◎	
		管理水準の維持	○	
		関係書類の調製・保管	○	
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	○	電話回線の不通、工事による断水などそのつどホームページへの掲載や現地掲示などにより公園利用者への周知を適切に実施した。工事に伴う仮設駐輪場の移設や新しくできた子どもの広場利用者の自転車整理のために仮設駐輪スペースなどを設置した。愛知県新体育館オープンに向け、駐車場の適正利用対策のため市との打ち合わせの実施、データ提供に努めた。
		利用者ニーズの把握と反映	○	
		利用者サービス向上策	○	
		接客・接遇向上の取組み	○	
		苦情・要望に対する適切な処理	◎	
		個人情報の適切な管理	○	
	3 この施設特有の管理	緑の普及・啓発事業への取組み	○	SNSでは花を中心とした園内植物の写真とその名称、特性のほか講習会の情報など年間を通してこまめに発信した。Instagramはフォロワーが前年度末から約900人増加した。ホームページでは、工事や行為許可に関する情報など問い合わせの多い情報を掲載した。
		めざす公園像への取組み	○	
	4 魅力増進・利用促進	魅力の増進策	○	
		イベント等の実施	○	
		講習会等の実施	○	
		利用者への広報・情報提供の実施	◎	
自主事業	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	◎	ボランティア団体の知識・技術の向上のため、自主事業による現地見学会研修を実施した。 新たに設置した自動販売機の1基は災害救援ベンダーを採用した。喫茶は材料費の高騰などもありやむなく値上げしたが、売り上げは維持された。 平日の工事車両の駐車台数増加による駐車場の収益を指定管理料に還元し、より質の高い植物管理を行った。
		集客対策への効果	○	
		自主事業の収支及び還元	◎	
収支	1 収支	経費節減策	○	
		年間収支	○	
その他	1 その他	法令・協定の遵守	○	
		事業計画との比較分析	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等

公園整備工事、愛知県新体育館工事が続く中、関係各所と調整し維持管理を行った。令和6年度より指定管理区域として新たに追加となったお堀沿いの緑地は、広範囲にわたって枯枝・支障枝剪定、低木の刈込、除草・清掃を行い、景観が向上した。また、追加区域中心にベンチの更新、平板補修、不陸整正などの修繕を公園利用者の安全のため早期に実施したことは評価できる。

自主事業においては、公園の安心・安全の向上につながる災害救援ベンダーを設置し、予算以上の駐車場収入の指定管理料への還元により不足する植物管理費に充当したことなどが評価できる。

施設の現状

名城公園

施設 の 現 状	施設概要							
	名古屋城天守閣の眼下に広がる名城公園は、終戦後いち早く名古屋市の中心部における総合公園として計画決定され、その整備が行われてきました。名城公園(北園)には、芝生広場、子どもの広場、ランニングコース、おふけ池、野球場(有料公園施設)などの施設があり、多目的に利用されています。 名城公園内にある名城公園フラワープラザは、「第6回全国都市緑化なごやフェア」(愛称「緑・花・祭なごや'88」)の記念施設として、また、都市の生活の中にとりいれる花の知識・技術等をひろめる普及啓発施設として、昭和63年9月30日の同フェア開催と同時に開館しました。敷地内のモデルガーデンや室内花壇には、草花・ハーブ等が植栽されています。館内では、花を中心にした展示・講習会が開催され、花の普及啓発施設、喫茶コーナーなどの便益施設として利用されています。							
	市の収支状況(千円) (6年度決算見込み額)							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	147,000	—	147,000	—	—	147,000	147,000	522
施設 の 現 状	特記事項							
	平成18年度から指定管理者制度を導入。平成30年度に指定管理区域を拡大。令和6年度よりさらに指定管理区域を拡大。							
管理 運 営 指 標 の 状 況	取組状況							
	指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	講習会受講者数		人	608	796	490	735	
	入館者数		人	156,160	172,834	158,189	152,558	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費を記載